

# 消化器外科

の紹介

2021年版

☑ 専門性の高い安全な手術を行っており、**治療成績は全国トップクラス**です。  
**胃癌、大腸癌、食道癌、膵癌、肝臓癌、胆道癌**のほか、  
**肉腫などの希少癌**の手術も経験豊富です  
 再発患者さんへの**転移病変切除、症状緩和手術**などにも積極的に取り組んでいます。

☑ すべての手術に、**日本外科学会専門医・指導医**が参加しており、  
 すべての腹腔鏡手術に、**日本内視鏡外科学会技術認定医**が参加しています



あらゆる手術、いかなる状況にも**best**な対応が可能です

がんの手術はどここの病院で受けても同じと思いませんか？  
**答えはもちろんNO**です

## 手術の精度……

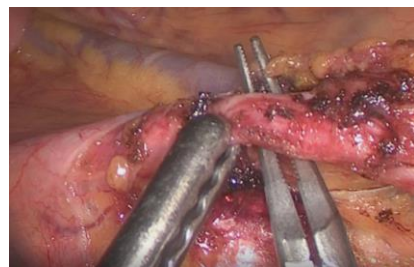
同じ癌の手術といっても、**リンパ節郭清**や**癌との切除距離**の確保をきちんとやるかどうかで、癌の再発率は大きく変わってきます。北海道がんセンターでは、3D-CT画像を用いて精度の高いリンパ節郭清・切除範囲の最適化を実現しています。

右の写真は大腸癌の腹腔鏡手術の写真ですが、大きな血管のまわりのリンパ節までしっかり切除されていることがわかります。(もしこのようなリンパ節郭清をきちんとしない手術を受けた場合は、再発率が増えることとなります)

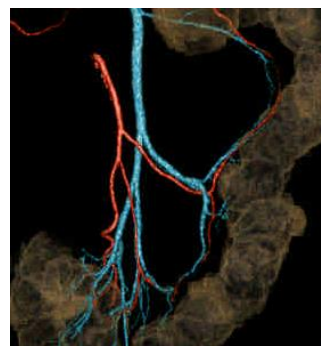
手術の精度向上により、下部直腸癌での**肛門温存率**もトップレベルです。

北海道がんセンターでは、大腸癌などの遠隔転移病変に対しても、化学療法に加え**転移病変切除**を行うことにより、治療成績を改善しています。(30%以上の方が長期生存) 転移切除は非常に難しい手術になることも多いですが、麻酔科・手術室スタッフの協力、**ダブルパイロットシステム**(2人以上の専門医・指導医による手術)により高い安全性を確保しています。

腹腔鏡下大腸癌手術でのリンパ節郭清



手術用3D-CT血管画像



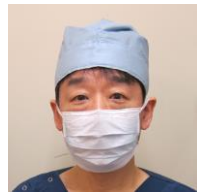
## 北海道がんセンター消化器外科スタッフ紹介



山本啓一朗 正司裕隆 小林正幸

サブチーフ チーフ  
 皆川のぞみ 前田好章

# チーフからのひとこと



癌を安全に切除するために……

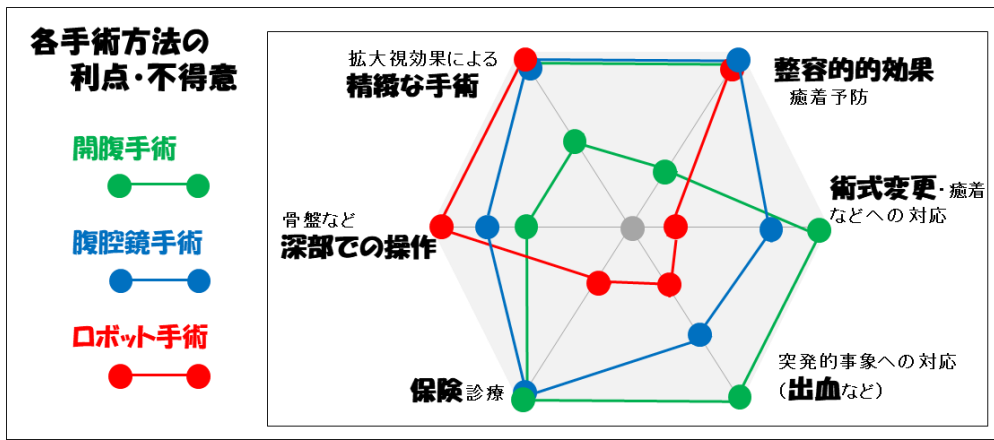
癌の状況(部位、大きさ、ステージ、癒着、など)によって、それぞれの患者さん毎に

**開腹手術**、**腹腔鏡手術**、**ロボット手術**から最適なものを選択しています

したがって、同じ病気で入院していても隣のベッドの患者さんと手術方法が違うことがあります。理由を簡単に説明します。

腹腔鏡手術はただ単にキズを小さくする目的ではなく、拡大視効果による手術清度の向上に寄与すると考えています。現在、**大腸癌で90%以上**、**胃癌で約70%の方が腹腔鏡で手術**を受けています。また直腸癌、胃癌の一部ではロボット手術も行っています。

なるべく多くの患者さんに腹腔鏡手術、ロボット手術を行うようにしていますが、下の図に示したようにそれぞれの方法には得意な点、苦手な点があります。



ロボット手術は、限られた範囲で決まった手術手順を高い精度で遂行することができますが、急な術式変更や予期しない事象への対応は困難です。また保険適応もかなり限定されてます。

外科医の技術・機器の進歩により、かなりの手術が腹腔鏡で施行できるようになっていますが、現在でも、大きな腫瘍や、複雑な再建を要する術式、手術部位、過去の手術歴などの条件により、開腹手術を選択するのが良い(医学的に選択すべき)患者さんも多数おられます。

どの術式を選択するかは、**術前カンファレンスで患者さん毎に詳細な検討のうえで最適なものを選択し**、担当医から説明いたします。御質問がある場合は、御遠慮なく担当医にお訊ねください。

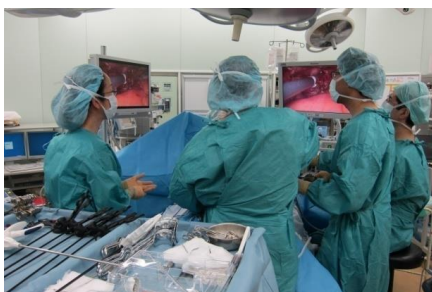
## 開腹手術



## ロボット手術



## 腹腔鏡手術



安全 + 第一



これからも安全・最適な手術を行うよう努力しております  
よろしくお願いいたします

2021.春 北海道がんセンター 消化器外科